

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公開番号】特開 2018-143880 (P2018-143880A)
 【公開日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-036
 【出願番号】特願 2018-126470 (P2018-126470)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 6 0 P

A 6 1 B 5/00 D

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

元画像と、当該元画像に対して骨によって識別できない病変を識別できるように画像処理した処理画像と、を含む複数の医用画像の中から出力対象となる医用画像を選択するための選択手段と、

前記選択された医用画像を出力する出力手段と、

前記選択された医用画像が前記処理画像である場合に、当該選択された処理画像に対応する前記元画像を当該選択された処理画像とともに前記出力手段に出力させる制御手段と、

を備え、

前記出力手段は、前記選択された処理画像と当該選択された処理画像に施された画像処理に関連する情報とを出力する情報処理装置。

【請求項 2】

前記出力手段に出力させる処理画像は、前記画像処理を施した処理画像に対して、前記画像処理に関連する情報をアノテーションとして付加したものである請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記画像処理に関連する情報は、前記元画像と異なることを示す情報である請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記選択手段により、前記複数の医用画像の中から出力対象となる医用画像を選択するための選択画面を表示する表示手段と、

前記選択画面において選択された医用画像を、選択されたことがわかる態様で前記表示手段に表示させる表示制御手段と、

を更に有し、

前記表示制御手段は、前記選択画面において前記処理画像が選択された場合に、当該選択された処理画像に対応する前記元画像も自動的に選択状態とし、当該自動的に選択状態とされた元画像を、選択されたことがわかる態様で前記表示手段に表示させる請求項 1 か

ら 3 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記出力手段は、前記選択された医用画像を記録メディアに書き込む書き込み手段である請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記出力手段は、D I C O M 形式、J P E G 形式又は P D I 形式の画像ファイルで前記選択された医用画像を出力する請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記出力手段は、前記選択された医用画像を外部装置に送信する送信手段、又は、前記選択された医用画像を保存する保存手段である請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記出力手段は、D I C O M 形式又は J P E G 形式の画像ファイルで前記選択された医用画像を出力する請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

元画像と、当該元画像に対して骨によって識別できない病変を識別できるように画像処理した処理画像と、を含む複数の医用画像の中から出力対象となる医用画像を選択する選択工程と、

前記選択された医用画像を出力する出力工程と、

を含む情報処理方法であって、

前記出力工程では、前記選択された医用画像が前記処理画像である場合に、当該選択された処理画像に対応する前記元画像を当該選択された処理画像とともに出力し、

前記出力工程では、前記選択された処理画像と当該選択された処理画像に施された画像処理に関連する情報とを出力する情報処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決するために、請求項 1 に記載の発明は、元画像と、当該元画像に対して骨によって識別できない病変を識別できるように画像処理した処理画像と、を含む複数の医用画像の中から出力対象となる医用画像を選択するための選択手段と、前記選択された医用画像を出力する出力手段と、前記選択された医用画像が前記処理画像である場合に、当該選択された処理画像に対応する前記元画像を当該選択された処理画像とともに前記出力手段に出力させる制御手段と、を備え、前記出力手段は、前記選択された処理画像と当該選択された処理画像に施された画像処理に関連する情報とを出力する情報処理装置である。

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の情報処理装置において、前記出力手段に出力させる処理画像は、前記画像処理を施した処理画像に対して、前記画像処理に関連する情報をアノテーションとして付加したものである。

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置において、前記画像処理に関連する情報は、前記元画像と異なることを示す情報である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の情報処理装置におい

て、前記選択手段により、前記複数の医用画像の中から出力対象となる医用画像を選択するための選択画面を表示する表示手段と、前記選択画面において選択された医用画像を、選択されたことがわかる態様で前記表示手段に表示させる表示制御手段と、を更に有し、前記表示制御手段は、前記選択画面において前記処理画像が選択された場合に、当該選択された処理画像に対応する前記元画像も自動的に選択状態とし、当該自動的に選択状態とされた元画像を、選択されたことがわかる態様で前記表示手段に表示させる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報処理装置において、前記出力手段は、前記選択された医用画像を記録メディアに書き込む書き込み手段である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 6 に記載の発明は、請求項 5 に記載の情報処理装置において、前記出力手段は、DICOM 形式、JPEG 形式又は PDI 形式の画像ファイルで前記選択された医用画像を出力する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の情報処理装置において、前記出力手段は、前記選択された医用画像を外部装置に送信する送信手段、又は、前記選択された医用画像を保存する保存手段である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 7 に記載の情報処理装置において、前記出力手段は、DICOM 形式又は JPEG 形式の画像ファイルで前記選択された医用画像を出力する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 9 に記載の発明は、元画像と、当該元画像に対して骨によって識別できない病変を識別できるように画像処理した処理画像と、を含む複数の医用画像の中から出力対象となる医用画像を選択する選択工程と、前記選択された医用画像を出力する出力工程と、を

含む情報処理方法であって、前記出力工程では、前記選択された医用画像が前記処理画像である場合に、当該選択された処理画像に対応する前記元画像を当該選択された処理画像とともに出力し、前記出力工程では、前記選択された処理画像と当該選択された処理画像に施された画像処理に関連する情報とを出力する。